

ワーク②

イベントの宣伝を考えよう!



たくさんの方にイベントに来ていただけるよう、イベントのタイトルやキャッチコピー、宣伝方法について話し合いました。

皆さんから出たアイデアをご紹介します。

イベントのタイトル・キャッチコピー



海・浜

- 相馬浜フェスタ
- 育て緑と浜の子ら
- 懐かしい浜の味
- 古里そうまの海
- 活気あふれる浜に戻そう
- 公園をきれいにすれば海もきれいに



叫び

- たましいの叫び
- 太平洋に向かって愛を叫べ
- 防災緑地で愛を叫ぶ
- 浜焼き食べて愛を叫ぼう!
- きれいな海で食べよう! 叫ぼう!
- ひびけ澄んだ大地に!



原釜尾浜

- おれが主役だ!
- 原釜尾浜のジジババから子や孫へ
- 海に来いよ原釜 遊びに来いよ尾浜
- 原釜尾浜(防災緑地)復興鎮魂イベント

防災緑地

- この際防災緑地祭
- 未来に営む原釜尾浜防災緑地
- 皆と歩む防災緑地
- 相馬の海を防災緑地から
- さわやか緑地イベント



ほか

- Make it possible with here!
(あなたの望みをここで可能にしてね)
- 防災緑地でギネスに挑戦

PR方法について

チラシやポスター

県や市の広報

マスコミ

地元団体や
企業に宣伝

SNS



学校や幼稚園、
保育園に宣伝



ワークショップ参加者の意見・感想(ふりかえりシートより)

- 各テーブルの発表内容 充実、素晴らしく開催楽しみです。
- 住民が主体性を持って参加するイベントの打ち上げ方、進め方について学ぶことが多かったです。知恵や妙案・アイデアに感心させられました。
- 男・女、年代関係なく地元に関して、復興を望んでいて、興味を持ち、いろんなアイデア・考え方があったんだと感じた。
- 活発な意見と若い人達の新鮮な発想が良かった。
- 具体的な行動面を考えて進めていけば良い。
- 費用、参加人数、実行委員のメンバー、備品等々
- 今後共頑張り参画していきます。



お問合せ・参加申し込み

福島県相双建設事務所 復旧・復興部 道路・橋梁課
 担当: 吾妻・鳥谷
 電話: 0244-26-1261 FAX: 0244-26-1197



原釜尾浜防災緑地

かわら版
第2号

利活用策と維持管理検討 ワークショップ

ワークショップについて

福島県相双建設事務所が整備を進めている「原釜尾浜防災緑地」について、開園後の利活用策などを検討するにあたり、地域の皆さまから意見を伺うワークショップを行っています。

ワークショップでは、防災緑地運営の予行演習としてイベントを行うこととしています。

これまでの経緯

- 8月26日 ワークショップ(第1回) 「イベントプログラム検討、実行委員会結成」
- 9月7日 イベント実行委員会(第1回) 「イベントプログラム決定、委員役割分担」



第2回ワークショップを 開催しました!

日時: 2015年9月16日(水)
 18:30~20:30
 場所: 相馬市東部公民館
 内容: イベントプログラム
 内容・イベント名検討
 参加者: 18名



日時

平成27年
11月29日(日)

会場

尾浜地区周辺

プログラム

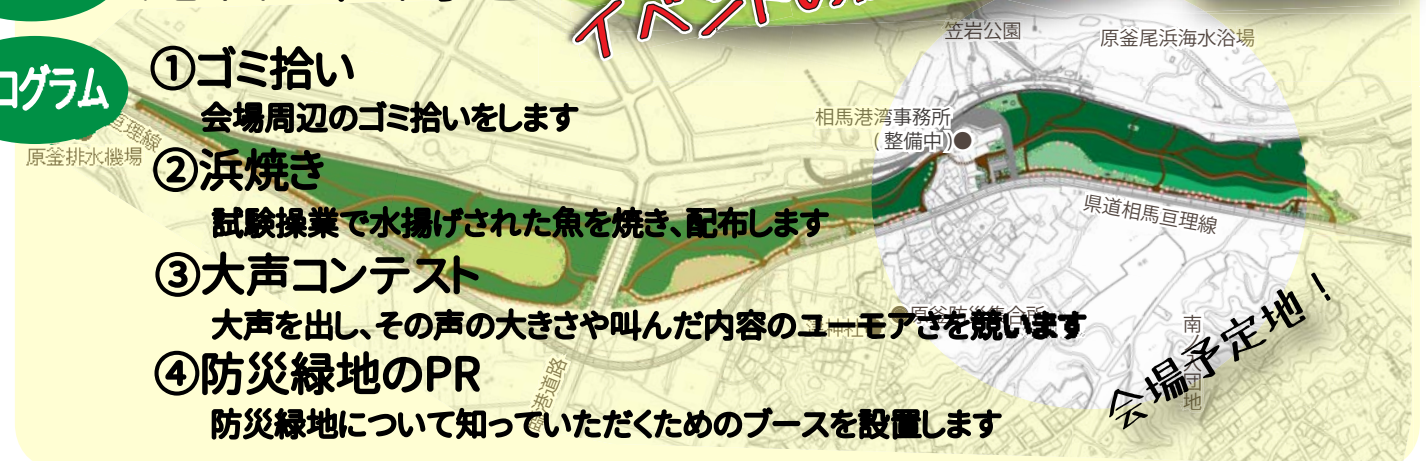
①ゴミ拾い
会場周辺のゴミ拾いをします

②浜焼き
試験操業で水揚げされた魚を焼き、配布します

③大声コンテスト
大声を出し、その声の大きさや叫んだ内容のユーモアさを競います

④防災緑地のPR
防災緑地について知っていただくためのブースを設置します

運営の予行演習として
イベントの開催が決定しました!



会場予定地!

ワーク①

イベントプログラムの実施内容を考えよう♪

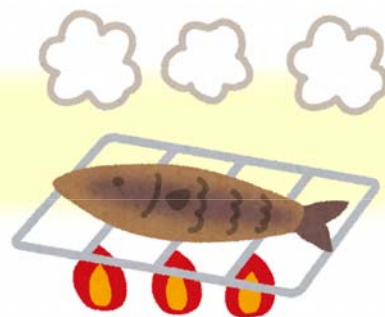
イベントのプログラム「ゴミ拾い」「浜焼き」「大声コンテスト」について、それぞれの具体的なルールや方法といった実施内容を話し合いました。また、上記の3つのほかにやってみたいプログラムについてもアイデアを出しました。

皆さんに発表いただいたアイデアの一部を紹介します。

浜焼き

メニュー

- ・汁物と魚
- ・色々な食材を参加者が選べるという
- ・焼き芋、焼きねぎ
- ・タコ、イカ、ツボダイ、ホッキ、ジャコ（コウナゴ、シラス）、カレイ



- ・つり、かご、刺し網、地引網など、子どもたちが体験しながら獲れた魚で浜焼きする（震災前は子どもの漁業体験をやっていた）
- ・自分の魚を竹串にさして焼く（子どもの魚を焼く勉強。大人が指導）
- ・魚のつかみ取り（タッチプール）
- ・ホッキ早むき大会

体験

方法

- ・無料で提供する（無料だと大人が寄ってきて子どももつれてくる）
- ・カキ祭りのように高級食材は有料
- ・試験操業の魚を提供してもらう
- ・U字溝のかまどで炭火焼
- ・ギネスに挑戦（長いかまど、焼き物が長い）



実行委員会で検討中♪

ワークショップで発表されたアイデアは、今後、イベント実行委員会で具体的な内容を定める際の参考とします。

実行委員会の今後の活動

- ① イベントの具体化に向けた検討
- ② 開催に向けた具体的な準備
- ③ スケジュールなど各種調整
- ④ PR活動

新たに実行委員に
加わった方
(あいうえお順)



石橋正裕さん
(漁協青年部)



佐々木正和さん



中澤紀子さん
(女性団体連絡会)



中澤正邦さん

実行委員会の様子・・・

実行委員、
まだまだ募集しています！

ゴミ拾い

ルール

- ・参加者に浜焼き引換券を配布
- ・競争ではなく、浜を愛する心で時間をかけて丁寧に拾う

- ・流木でたき火（焼き芋）
- ・ゴミ拾いのゴミを選別して、鉄くず・資源ゴミは売却して運営費にあてる。流木などは浜焼きの燃料として使用。灰は田畑の肥料。その他燃えるゴミは発電式焼却炉で燃やし、イベント使用の電力の足しにする。

ゴミの活用

方法

- ・海水浴場で拾う
- ・参加者にゴミ袋を渡し、イベント中に出たゴミをまとめてもらう
- ・ゴミ袋をペア、家族、グループにつき各1枚ずつ配布
- ・イベント開会のあいさつ後、ゴミ拾い。ゴミを拾っている間にイベントの準備

大声コンテスト

- ・テーマは「鎮魂」「感謝」
- ・商品は1位～7位まで
- ・文字制限（10文字以上、など。「あー！」などはダメ）
- ・言葉をくじ引きして決める
- ・ユニークな叫びにも賞をあげる（審査員が必要）
- ・審査員にユーモアさを評価してもらう
- ・衣装にも賞をあげる
- ・5人ずつで競う
- ・加点方式、加点のキーワード（あらかじめ発表するor内緒）
- ・子どもと大人で目標の音量をクリアした人に、浜焼きの引換券とゴミ袋を渡す

ルール

方法

- ・デシベル計で測る
- ・盛土の上で絶叫する

その他のプログラム

- ・現場見学会を行い、防災緑地を知ってもらう
- ・宝探し（砂浜にカードを埋める）
- ・ウォークラリークイズ など

